

第57回教誨師中央研修会大会実施結果報告書（JKA競輪補助事業）

記

- 1 実施年月日 令和5年 8月30日(水)～9月1日(金)
- 2 会 場 東京都千代田区霞ヶ関1-1-1 法務省地下大会議室
- 3 目 的 第57回教誨師中央研修会の評価について、教誨師として委嘱されてから概ね5年未満の教誨師で、中央研修会に出席経験のない教誨師を対象として、矯正行政の施策や方向性並びに矯正施設の収容動向等について理解を深め、実際の個人教誨や集会教誨その他の教誨師の活動を録画した映像を視聴し、「教誨師事例に学ぶ」をテーマに、グループワークを通して教誨師としての自覚を高め、必要とされる基本的情報・知識や技能の習得を図り、教誨活動の向上に資することを目的として実施した。
- 4 参加者 教誨師50名 矯正施設関係者5名 その他関係者37名
計92名

5 大会内容

第1日目

開会式

教誨事業功労者表彰式

法務大臣表彰

公益財団法人日本宗教連盟理事長表彰

公益財団法人全国教誨師連盟総裁表彰

講演

演 題 「矯正の現状」

講 師 法務省矯正局 矯正局長 花村博文氏

第2日目

研修DVD「新任教誨師活動」

研修DVD「やってはいけない教誨」

全国（北海道から九州）研修に参加した教誨師50名を6班に分け、座長・副座長としてオブザーハ参加させて、研修生が研修テーマから離れないよう誘導した。

第3日目

「過去負う者」という映画上映した。本作品は、刑期を終えた出所た

ちと、彼らを支援する受刑者向け就職情報誌の編集部が交錯し合う物語通じてる。

6 研修の成果

教誨事業功労者表式者を法務大臣表彰、公益日本宗教連盟理事長表彰、公益財団法人全国教誨師連盟総裁表彰の方が受賞者を披露した。

講演では、法務省矯正局長花村博文氏により「矯正の現状について」というテーマで、刑事施設における矯正処遇、少年院における矯正教育、少年鑑別所における鑑別等を中心にパワーポイントの資料を交えて、矯正の現状や抱えている問題点等について講演をしていただいた。

2日目班別討議では、「新任教誨師活動」「やってはいけない教誨」DVDをテーマにして、参加研修員50名を6班に分けて、先輩教誨師2名を座長・副座長として配置して、ビデオ視聴しながら班別討議を行い、被収容者に対する接し方や言葉使いなど正しい教誨のあり方について、活発な質問や意見交換が行われ、本研修会を通じて今後の教誨実施にあたり有用な多くの知識や技術の向上に結び付く事を多く吸収することができた。

3日「過去負う者」という映画を上映した。元受刑者が、偏見・差別を受けた社会と周囲の人の触れ合いを通して、生きる意味を見出していくドラマです。

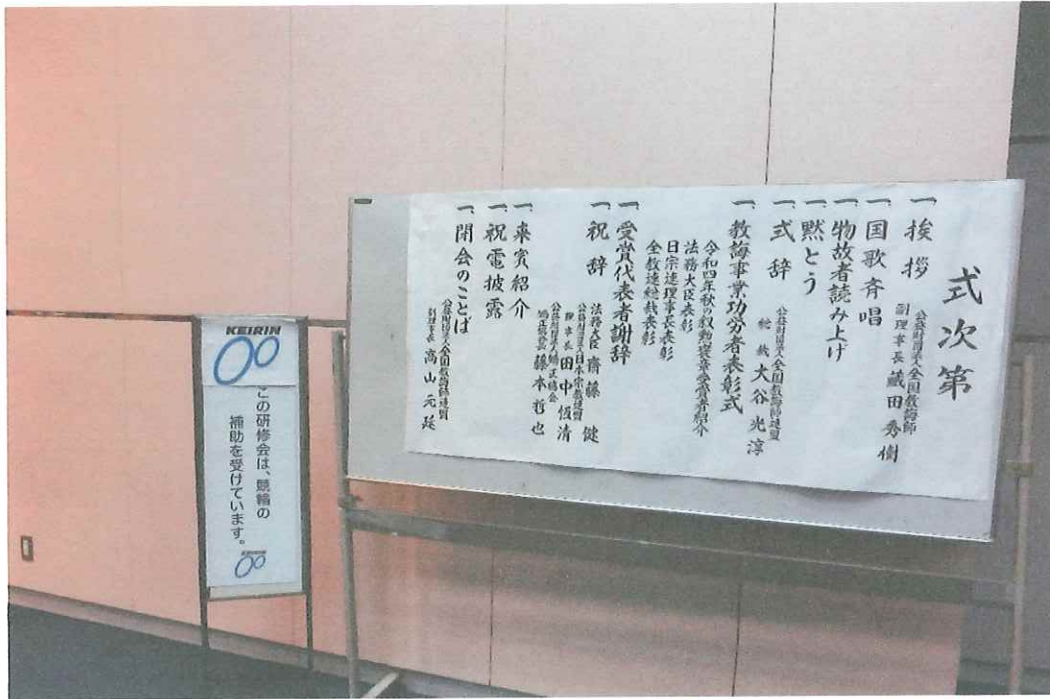
教誨師が、「重い問題を与えられた」と言っていた（映画の感想を直接、参加から聞いた声を紹介）

研修生教誨師を読んだ感想。参加者にとって賛否分かれた感じ。

（賛否あるかもしれないが）課題を与えたので上映して成功だった。

研修大会実施記録

研修会開式



公益財団法人日本宗教連盟理事長表彰 表彰式場面



祝辞 法務大臣 齋藤 健 氏



講演「矯正の現状」 法務省矯正局長 花村 博文 氏



教誨師研修生班別授業



閉会式 研修生修了証授与

